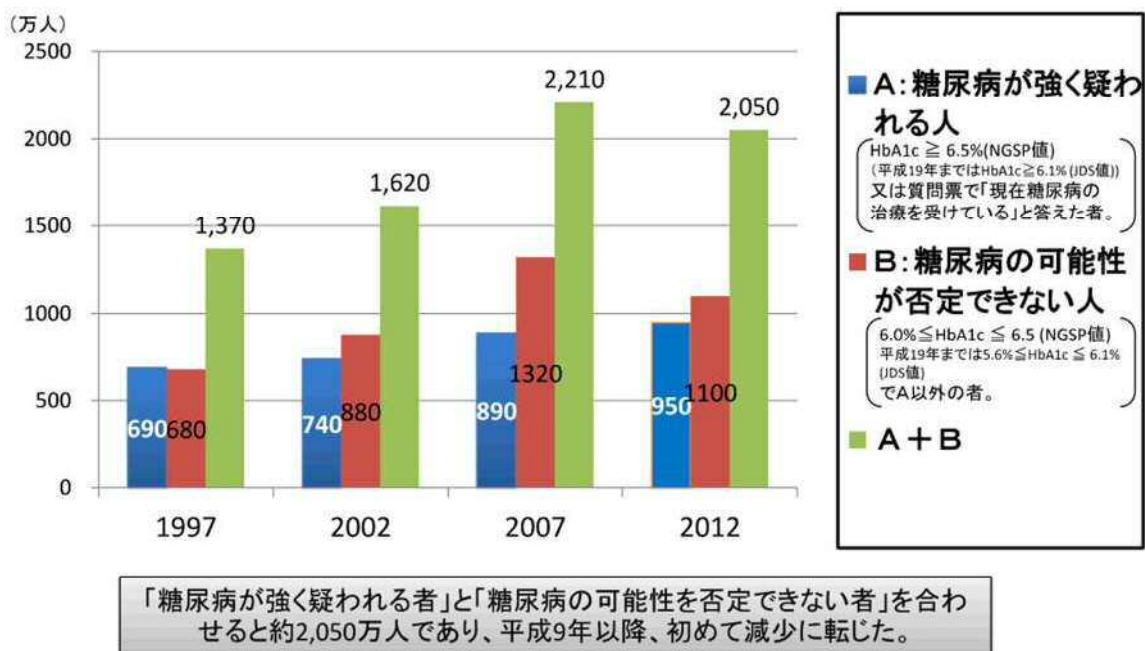


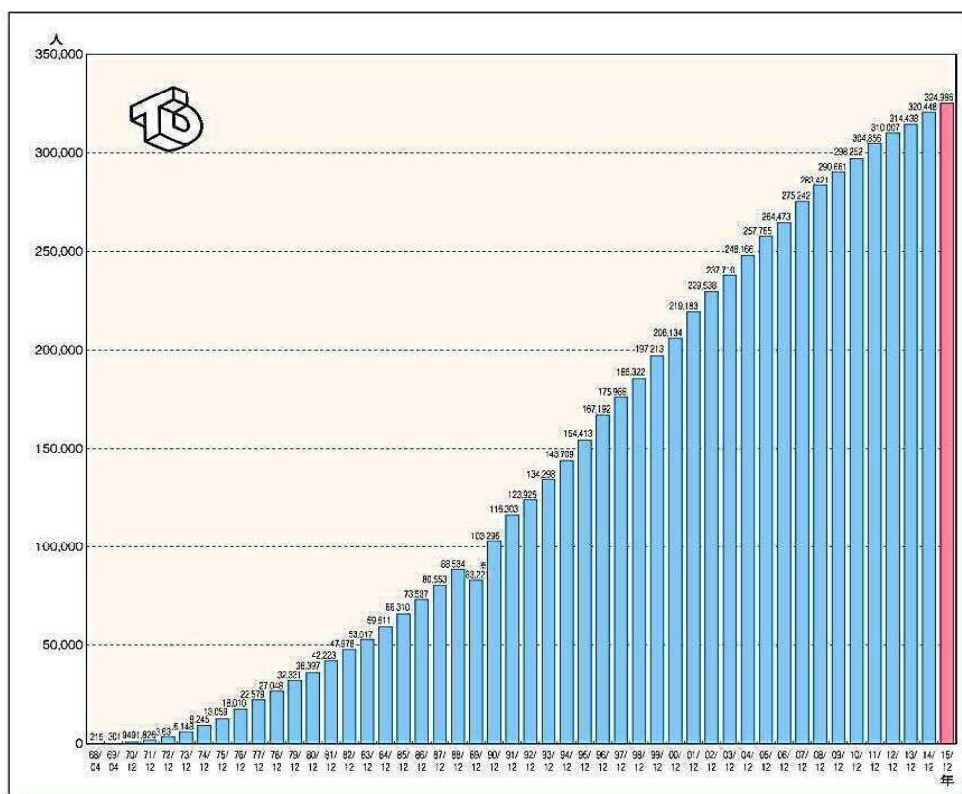
糖尿病・人工透析の現状

参考 1：糖尿病有病者の推移



1997年: 策定時のベースライン値(平成9年糖尿病実態調査), 2002年: 中間評価(平成14年糖尿病実態調査)
 2007年: 平成19年国民健康・栄養調査, 2012年: 直近実績値(平成24年国民健康・栄養調査)

参考 2：慢性透析患者数の推移



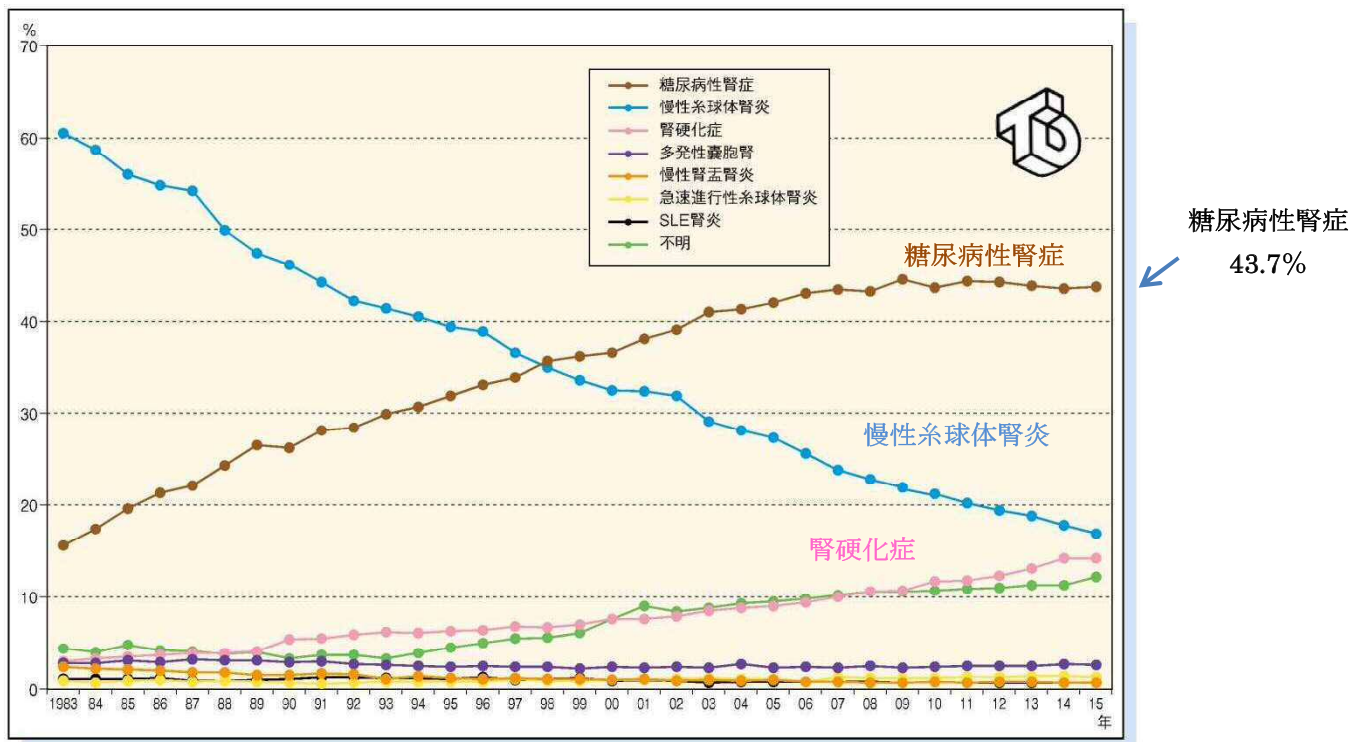
年末(30年前)
透析導入患者数
人



年末
透析導入患者数
人

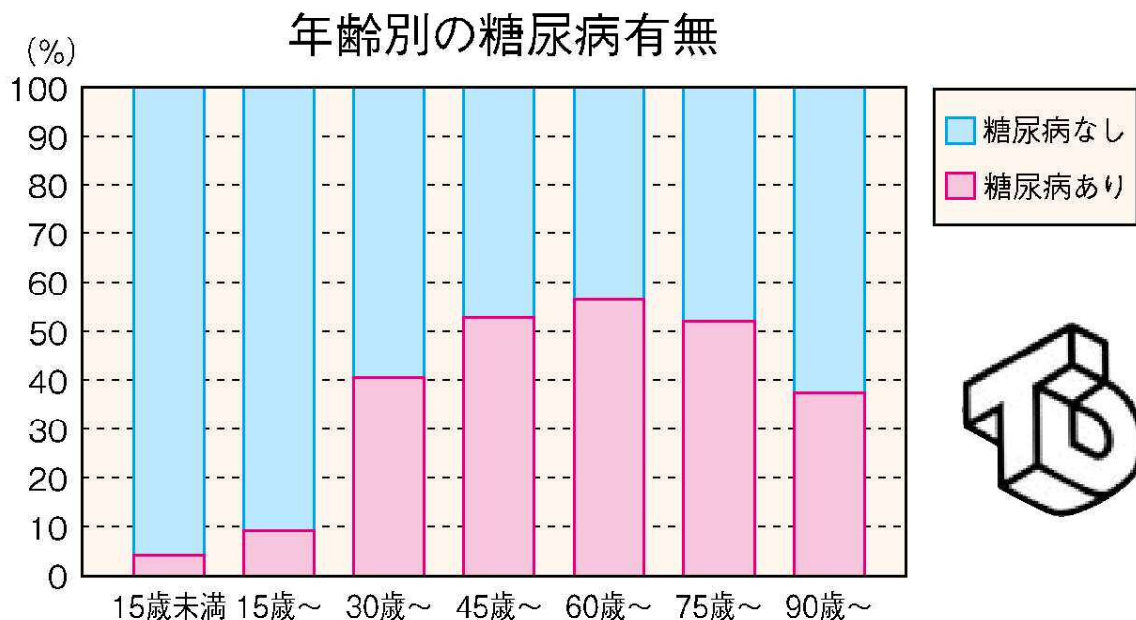
出典：図説 我が国の慢性透析療法の現況（日本透析医学会）

参考 3 : 透析導入患者の主要原疾患の推移 (年別)



出典：図説 我が国の慢性透析療法の現況（日本透析医学会）

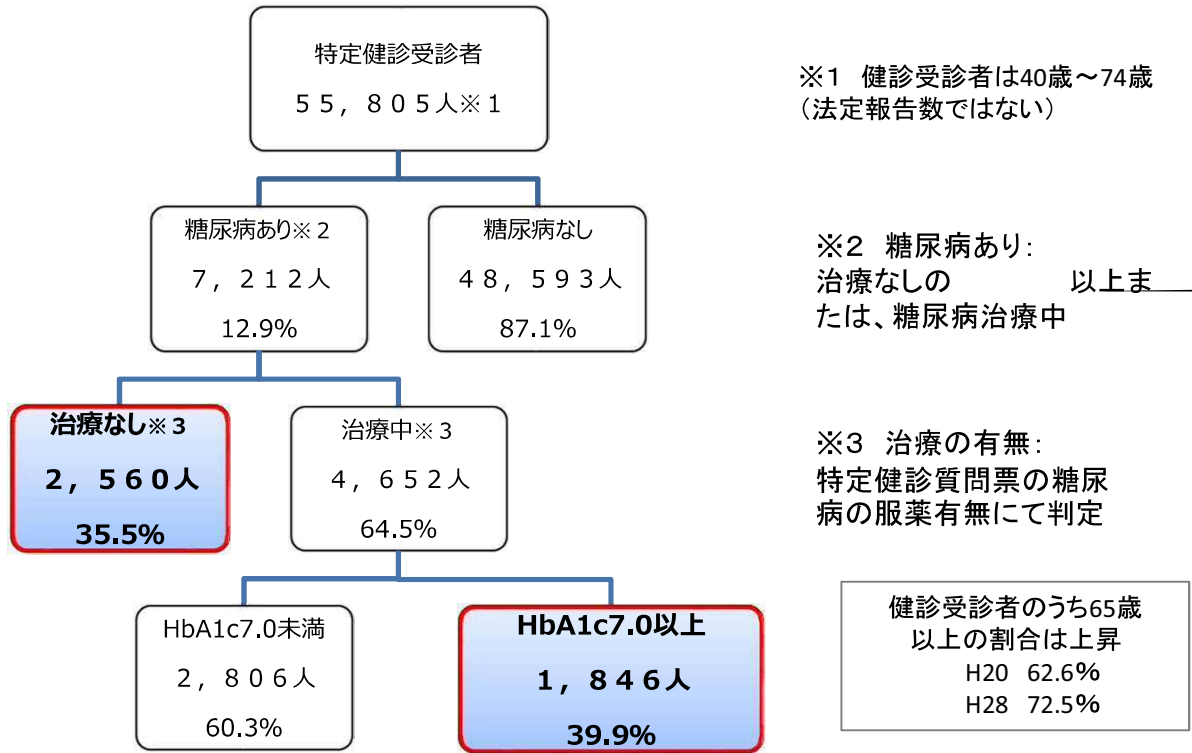
参考 4 : 透析導入患者の年齢別糖尿病の有無



原疾患が糖尿病性腎症または、糖尿病の既往がある患者を「糖尿病透析患者」と定義した。回答のあった透析患者 〇〇 人に対し、糖尿病透析患者は 〇〇 人であり全体の 〇〇%。

出典：図説 我が国の慢性透析療法の現況（日本透析医学会）図の解説より一部抜粋

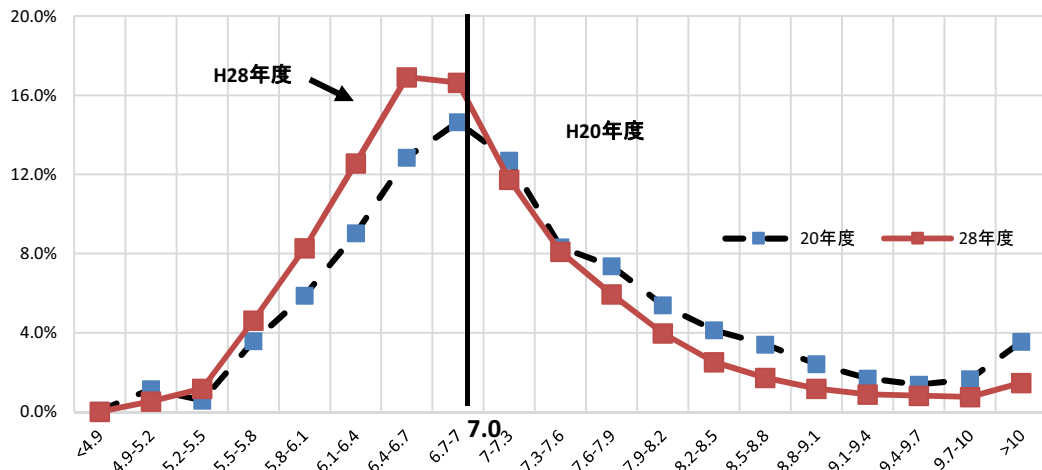
平成28年度北九州市国保特定健診結果より 糖尿病の現状



●平成 年度からの取組の結果

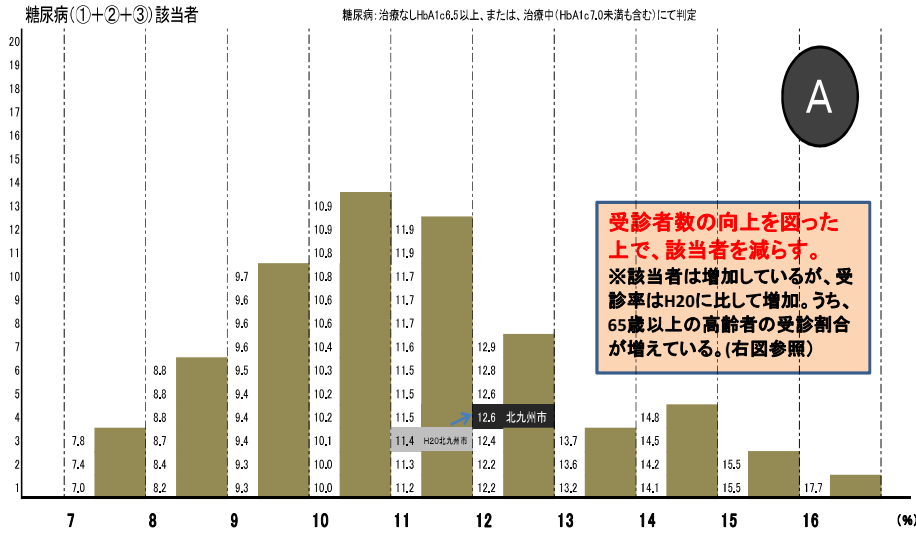
	HbA1c検査実施者	HbA1c6.5以上で糖尿病の治療をしている割合			糖尿病治療中でHbA1c7.0未満の割合		
		糖治療有	6.5以上	割合	7.0未満	糖治療中	割合
H20	39,509	1,683	3,969	42.4%	1,065	2,224	47.9%
H28	55,805	3,148	5,708	55.2%	2,806	4,652	60.3%

特定健診受診者のHbA1c分布図(問診でインスリン注射や血糖降下薬を使用しているとした者)

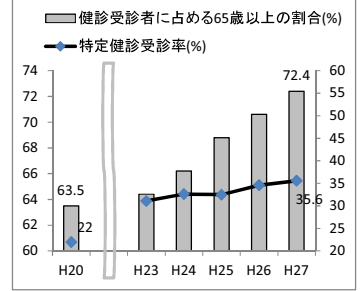


糖尿病性腎症重症化予防対象者の割合（平成27年度 福岡県国民健康保険特定健診結果より）

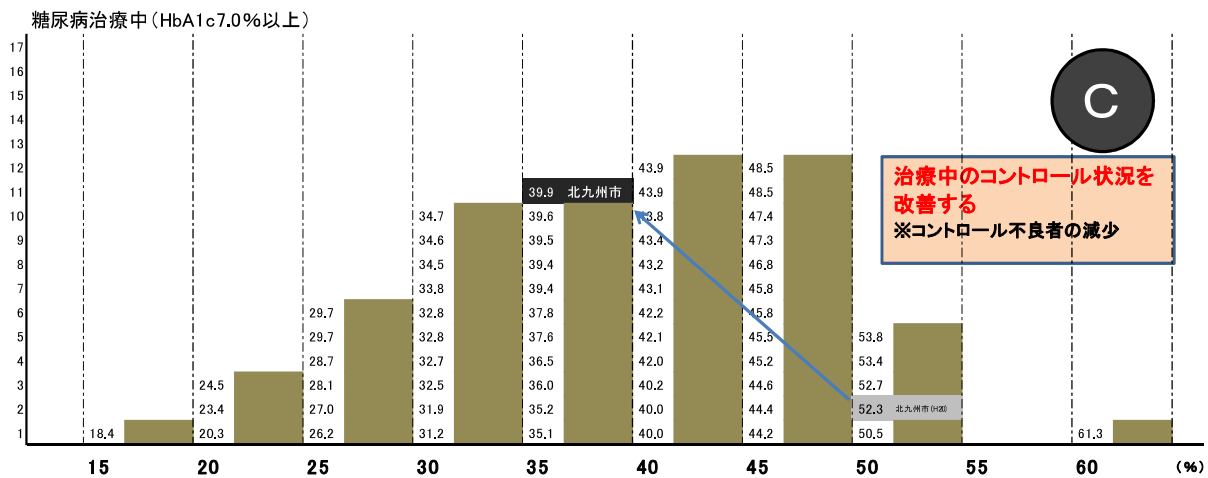
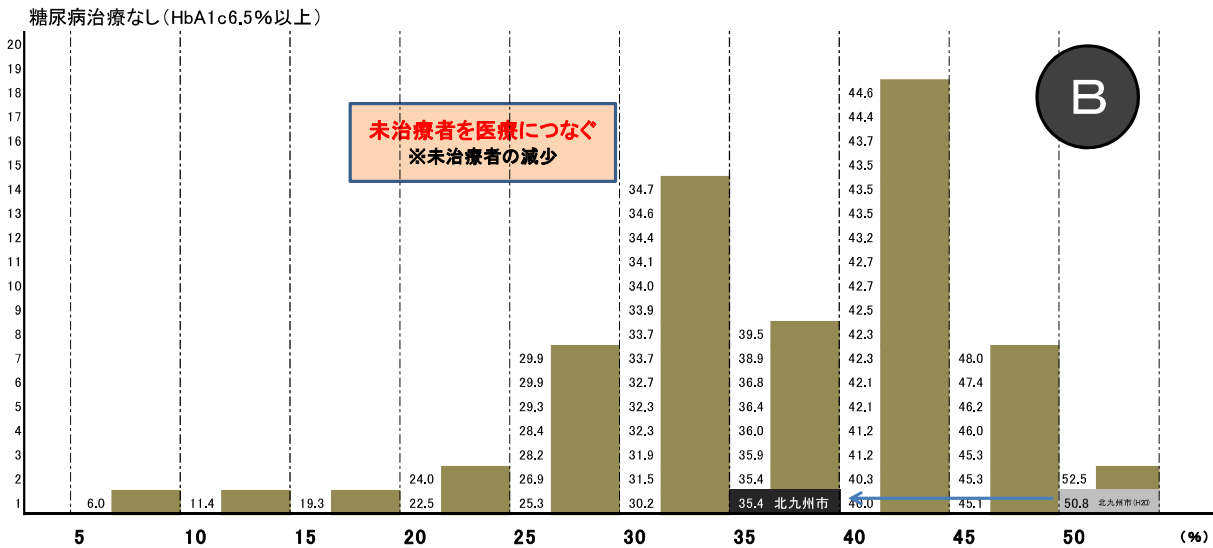
資料2



特定健診受診率と高齢化の推移



年度	特定健診受診率 (%)	健診受診者に占める65歳以上の割合 (%)
H20	22.0	63.5
H23	31.1	64.4
H24	32.6	66.2
H25	32.5	68.8
H26	34.6	70.6
H27	35.6	72.4



人工透析導入患者の推移

人工透析導入者数（新規）（保健事業等評価・分析システムより）

北九州市国民健康保険

被保険者数 (H29.3)	透析患者数 (H29.3)	被保険数 千対	(再掲) 新規透析導入患者								
			25 年度	26 年度	27 年度	28 年度 (A)	被保 千対	糖尿病あり		(再掲) 糖尿病性腎症	
								(B)	(B/A)	(C)	(C/A)
224,890	427	1.90	102	116	107	114	0.51	94	82.5%	60	52.6%

※新規の判断：透析の導入加算の算定あり（腹膜透析含む）

※データ元 被保険者数及び透析患者数：KDBシステム_市町村別データ

新規導入患者数：保健事業等評価・分析システム_新規患者数

参考 じん臓機能障害 1 級の経年推移（窓口申請数）

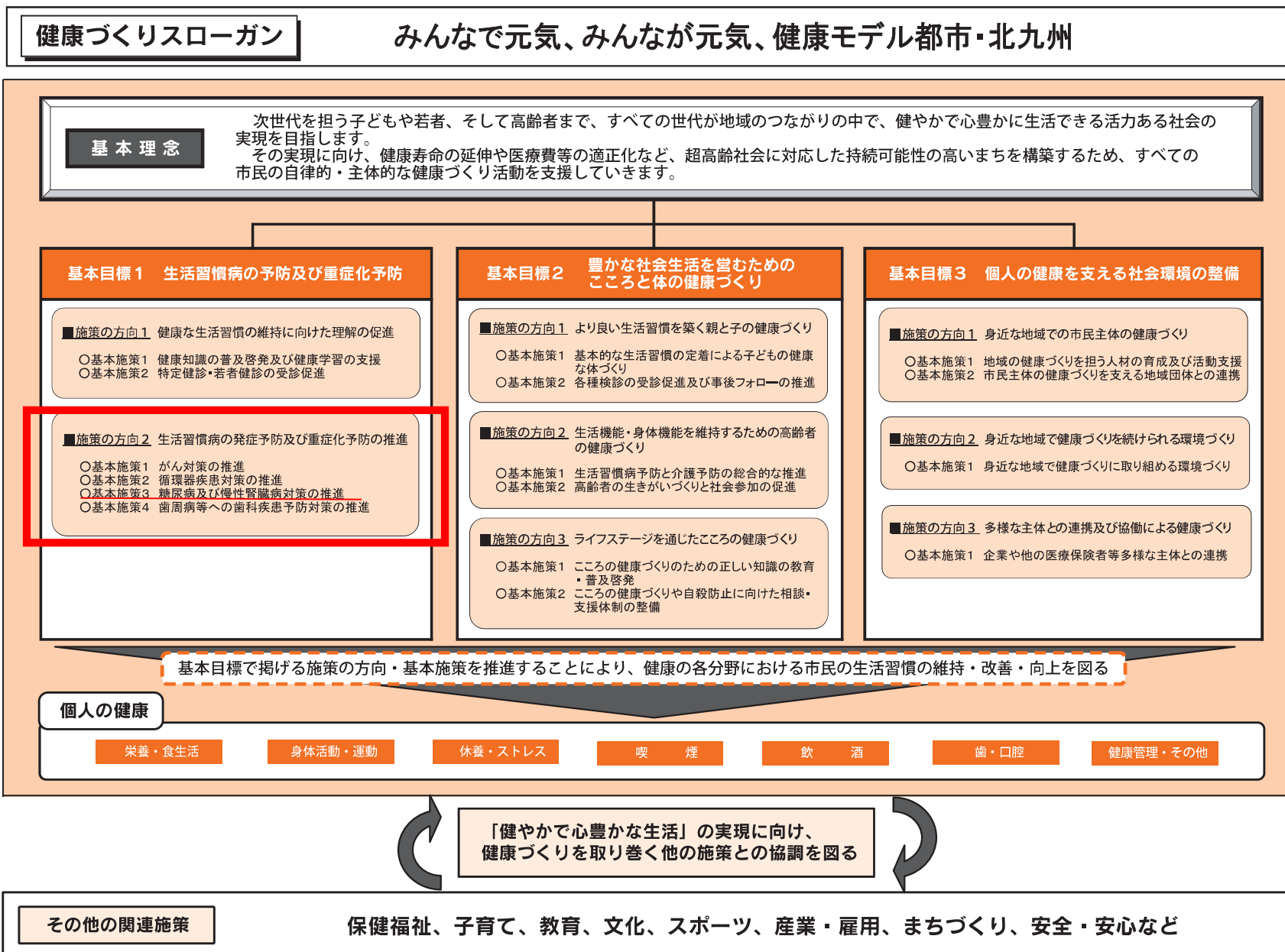
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
身体障害者手帳交付台帳登録数 (全年齢)	全数	3,171	3,226	3,243	3,287	3,328	3,369	3,411	3,463	3,494
	新規	277	264	262	261	293	264	269	283	283

※ 身体障害者手帳におけるじん臓機能障害 1 級の認定基準

厚生労働省福祉行政報告例（障害福祉課在宅支援係提供）

じん臓機能検査において、内因性クレアチンクリアランス値が10ml/分未満、又は血清クレアチン濃度が8.0mg/dl以上であって、かつ、自己の身の辺の日常生活活動が著しく制限されるか、又は血液浄化を目的とした治療を必要とするもの若しくは極めて近い将来に治療が必要となるもの

3. 計画の体系図



北九州市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）について

本市国保の現状と課題

(1) 健診受診率（対象者 40歳～74歳 約172,000人）

区分	北九州市		政令市平均	H29年度 目標値
	H20	H27	H27	
特定健診	22.0% (政令市11位)	35.6% (政令市4位)	27.4%	60.0%
保健指導	10.5% (政令市7位)	28.7% (政令市3位)	12.7%	60.0%

(2) 健診結果

(法定報告値より)

区分	H20	H26	H27	H26福岡県平均
高血圧	180/110以上	1.1%	0.8%	0.8%
	160/100以上	6.6%	5.1%	4.8%
高血糖 (HbA1c)	8.4以上	1.6%	1.1%	0.9%
	7.0以上	5.5%	4.6%	4.0%
脂質異常 LDL-C160以上	14.9%	12.8%	13.9%	13.6%

(福岡県国民健康保険団体連合会資料)

(3) 医療費の状況

○一人当たり医療費（政令市中2位）

年度	H20	H21	～	H26	H27
医療費 (円)	347,615	352,966	～	386,219	401,879
対前年度比 (%)		102		102	104

(保健福祉局保険年金課資料)

○医療費に占める入院の割合

	H27	北九州市	政令市平均
件数		3.3%	2.5%
費用		45.3%	38.9%

(KDB)

○長期入院の状況（生活習慣病関連）

		全体	脳血管	心臓	糖尿病性 腎症
長期入院 (6ヶ月以上)	人数	2,082人	305人 14.6%	158人 7.6%	---
	費用額	84.1億円	10.9億円 13.0%	5.6億円 6.6%	---
人工透析 (長期化)	人数 (H27.5)	480人	113人 23.5%	172人 35.8%	238人 45.7%
	費用額 (H27)	29.3億円	6.5億円 22.3%	10.3億円 35.1%	13.3億円 45.4%

○生活習慣病の治療状況

	基礎疾患 の重なり	脳血管 疾患	虚血性 心疾患	糖尿病性 腎症
高血圧症		77.7%	76.8%	79.8%
糖尿病		42.2%	45.9%	100.0%
脂質 異常症		60.9%	68.0%	70.9%

(KDB)

(4) 介護の状況

(KDB)

区分	北九州市	政令市
要介護者の医療費	11,287円	7,991円
1号被保険者の認定率	24.8%	22.0%
2号被保険者の認定率	0.5%	0.4%

※1号被保険者(65～74歳) 2号被保険者(40～64歳)

(KDB)

○要介護の原因（2号認定者）

脳卒中	61%
-----	-----

(KDB)

まとめ

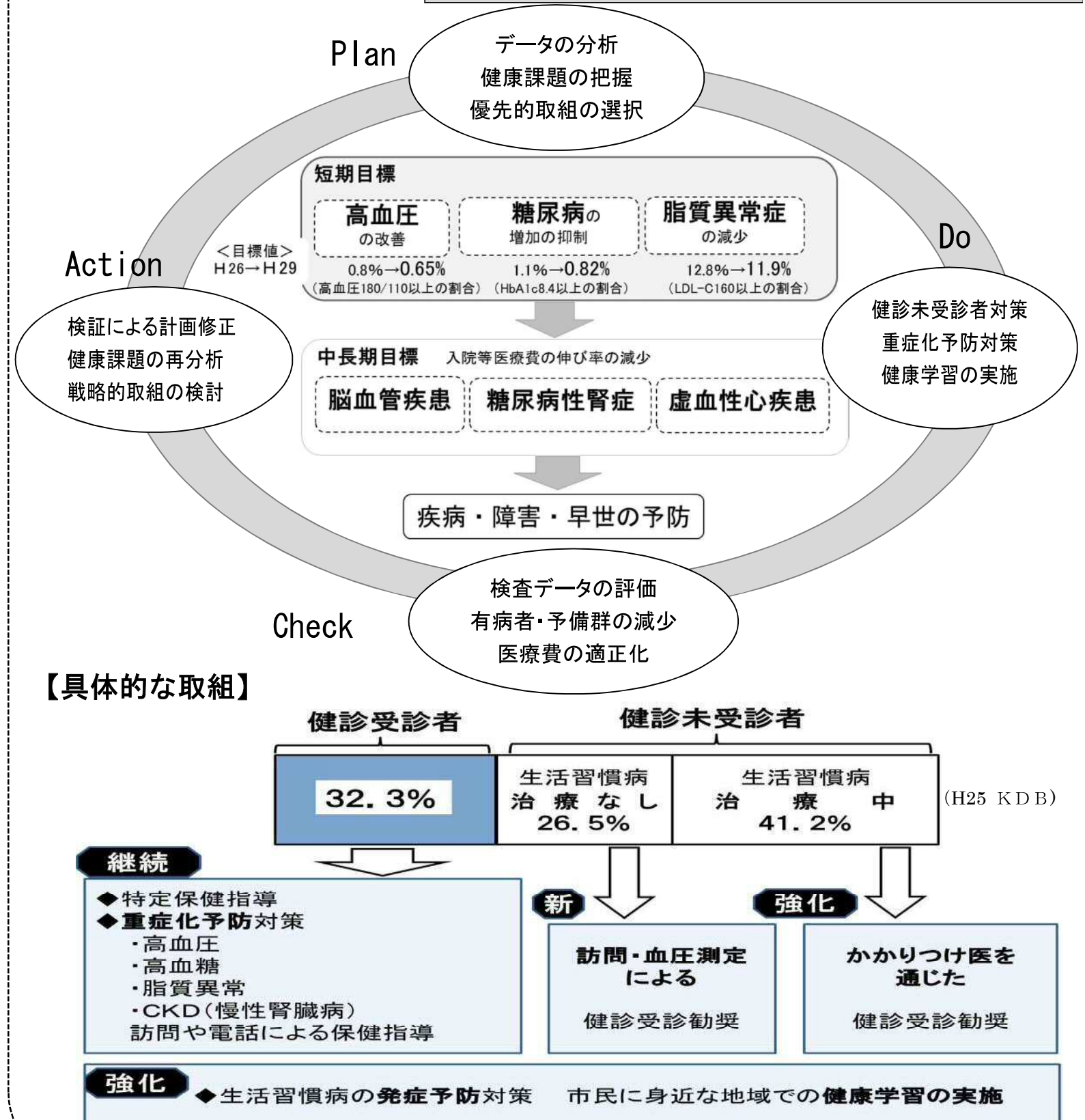
- 健診受診者の有所見率が高く、また入院の割合や要介護認定率が高い。
- 入院等で高額な医療費を必要とし、要介護認定の原因となる脳血管疾患や虚血性心疾患、糖尿病性腎症は、高血圧、高血糖、脂質異常が重症化して発症するため、これらへの対策が必要。

取組のイメージ

目標設定

中長期目標の達成に向け

- 共通リスクである高血圧症、糖尿病、脂質異常症の減少
- 重症化予防対象者を把握するための健診受診率の向上



北九州市における糖尿病重症化予防の取組の現状

北九州市国民健康保険	<p>【市医師会に委託実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診・特定保健指導 <p>【かかりつけ医・腎臓専門医との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定保健指導非対象者への保健指導 <p>※必要に応じ糖尿病連携手帳の配布、記録の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CKD 予防連携システムへの糖ルートの追加運用（H23 ～） ・ 糖尿病性腎症重症化予防対策 <p>【市医師会との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市医師会健康推進対策会議への有所見者状況等情報提供
健康づくり	<p>【関係団体との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民糖尿病教室（糖尿病フェスタ） ・ 世界糖尿病デー啓発街頭活動（ブルーライトアップ） <p>【地域の医療機関等との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で GOGO 健康づくり活動での情報提供・相談 ・ 各区役所開催健康教室等（講師依頼）
歯科保健	<p>【医科歯科連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パンフレットにて糖尿病の合併症としての歯周病の周知 ・ 歯科医師へ「糖尿病連携手帳」への受診結果記載依頼（H28～）

関係団体による取組の状況（上記および医学的内容を除く）

北九州市医師会 （特定健診登録医療機関）	研修会にて糖尿病連携手帳の活用について周知
眼科	眼手帳の利用と糖尿病連携手帳の持参があれば記載
北九州市歯科医師会	理事会等にて日本糖尿病協会への入会の声かけ
北九州市薬剤師会	お薬手帳により服薬確認と中断者の確認
北九州市 CDE の会	まちかど糖尿病相談会等の実施

H28 年度第 2 回 CKD 予防連携システム意見交換会情報交換より

糖尿病に関する目標

【健康日本 2 1（第二次）】

項目	前回	現状（中間評価）	目標
①合併症（糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数）の減少	16,035 人 （平成 25 年）	15,809 人 （平成 26 年）	15,000 人 （平成 34 年度）
②糖尿病治療継続者の割合の増加	62.0% （平成 24 年）	60.8% （平成 26 年度）	75% （平成 34 年度）
③血糖コントロール不良者の割合の減少 （HbA1cがNGSP値8.4%以上の者の割合の減少）	1.2% （平成 22 年度）		1.0% （平成 34 年度）
④糖尿病有病者の増加の抑制	950 万人 （平成 24 年）		1,000 万人 （平成 34 年度）
⑤メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	1,394 万人 （H24 年度）	1,410 万人 （平成 26 年度）	平成 20 年度と比べて 25%減少 （平成 27 年度）
⑥特定健診・特定保健指導の実施率の向上	特定健康診査の実施率 46.2% 特定保健指導の実施率 16.4% （平成 24 年度）	特定健康診査の実施率 48.6% 特定保健指導の実施率 17.8% （平成 26 年度）	平成 25 年度から開始 する第二期医療費適 正化計画に合わせて 設定（平成 29 年度）

【本市健康づくり推進プラン】

項目	前回	現状	目標 (H29 年度)
①血糖コントロール不良者の割合の減少 (市国保健診) (HbA1c8.4%以上の者の割合)	1.3% (H23 年度)	1.1% (H28 年度)	1.2%
②年間新規透析導入患者数の減少 (市国保健診)	204 人 (H23 年度)		195 人
③糖尿病の年齢調整死亡率の減少 (10 万人当たり)	男性 : 9.0 (H22 年度) 女性 : 3.0 (H22 年度)	男性 : 5.6 (H27 年度) 女性 : 2.3 (H27 年度)	男性 : 8.8 女性 : 2.8
④歯周病と糖尿病の関係を知っている者の割合の増加	40 歳以上 27.7% (H23 年度)	33.2% (H28 年度)	50%
⑤特定健診・特定保健指導の実施率の向上	特定健診の受診率 31.1% (H23 年度) 特定保健指導の実施率 27.5% (H23 年度)	35.6% (H27 年度) 28.7% (H27 年度)	60.0% 60.0%

【本市データヘルス計画】

項目 (短期的な成果目標)	現状	目標 (H29 年度)
特定健診・特定保健指導の実施率の向上	特定健診の受診率 35.6% 特定保健指導の実施率 28.7% (平成 27 年度)	60.0% 60.0%
血糖コントロール不良者の割合の減少 (市国保健診) (HbA1c8.4%以上の者の割合)	1.1% (H28 年度)	0.82%
年間新規透析導入患者数の減少	107 人 ※評価方法異なる (保健事業評価・分析システムより)	195 人

※他中・長期的な成果目標

- ・虚血性心疾患・脳血管疾患・人工透析の新規導入件数及び人数
- ・糖尿病患者数の変化
- ・総医療費・一人当たり医療費